

【別紙 1】

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹部会
平成 28 年度現地研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹部会
部会長 農研機構果樹茶業研究部門 中村ゆり

1. 趣旨

地域レベルでの知的財産への取り組みの一つとして、地域特性に応じた品種育成が盛んに行われている。これらの品種は、他地域との差別化が容易であることから、地域ブランドとして農業振興や活性化に用いることができる。一方で、国産果実の需要を喚起するためには、流通量を増やして消費者への認知度を高める必要があり、そのためには他地域へも普及する必要がある。

そこで、本年度の現地研究会では、各地域での果樹の育種戦略、育成品種のブランド化のための施策や取り組み事例、他産業への利用等について話題提供するとともに、今後の研究方向について検討する。

2. 開催日時 平成 28 年 7 月 14 日（木）13:00～15 日（金）13:00

3. 開催場所

1) 現地検討会（1 日目午後）

- ① 岐阜県中山間農業研究所中津川支所（岐阜県中津川市）
- ② 菓子製造業者（恵那川上屋恵那峡本店：岐阜県恵那市）
- ③ 笠置山クリ園（大規模クリ団地：岐阜県恵那市）

2) 研究会（2 日目午前）

岐阜市生涯学習／女性センター（ハートフルスクエアG）大研修室
（岐阜市橋本町 1 丁目 10 番地 23：JR 岐阜駅東に隣接、TEL:058-268-1050）

4. 検討事項

テーマ「果樹の品種育成と育成品種を利用した地域活性化」

1) 現地検討会（7 月 14 日 13:15～16:30）

(1) 出発場所・時間 JR 中津川駅 13:00

(2) 現地視察

- ① 中山間農業研究所中津川支所（クリの育種、凍害防止等の研究）
- ② 恵那川上屋恵那峡本店（生産と菓子製造双方向での超特選恵那栗の確立）
- ③ 笠置山クリ園（大規模クリ団地、県育成品種、高盛実証園）

* 視察後、貸し切りバスで JR 岐阜駅に移動（1 時間強）（岐阜バス観光）

2) 研究会（7 月 15 日 9:00～12:30）

(1) 話題提供

（座長：果樹茶業研究部門 中村ゆり）

- ① 「新品種を活用した 6 次産業化の推進と普及～新品種育成の視点と戦略～」
農研機構食農ビジネス推進センター 後藤 一寿

②「長野県におけるリンゴの品種育成とブランド化に向けた取り組み」
長野県果樹試験場 泉 克明

③「果樹の岐阜オリジナル品種の育成とブランド化戦略」
岐阜県中山間農業研究所 水野 文敬
(座長：岐阜農技セ 新川 猛)

④「スモモの品種育成とそのブランド化に向けた取り組み」
山梨県果樹試験場 富田 晃

⑤「三重県における県育成果樹新品種について」
三重県農業研究所 紀南果樹研究室 市ノ木山 浩道

⑥「ルビーロマンのブランド化と地域活性化」
石川県農林総合研究センター農業試験場 高枝 正成

(2) 総合討論 (コーディネーター：食農ビジネス推進センター 後藤一寿)

(3) その他

- ①平成 28 年度推進会議の開催予定
- ②次年度の現地検討会開催予定 (東京都)

5. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター、果樹茶業研究部門、その他部会長が必要と認めた者

6. その他

参加申し込み、資料提出、その他の詳細については、別途事務局（岐阜県農業技術センター）から連絡する。

宿泊については、参加者各自が岐阜駅周辺で手配。1 日目 19:00 から情報交換会を開催予定。

参考：

(名古屋から)

J R 中央線 ワイドビューしなの 11 号
名古屋 (12:00 発) ——中津川 (12:49 着)

快速 名古屋 (11:24) ——中津川 (12:39 着)

(長野から)

J R 中央線 普通 塩尻 (10:50 発) ——中津川 (12:54 着)
ワイドビューしなの 8 号

塩尻 (11:03) ——中津川 (12:06 着)